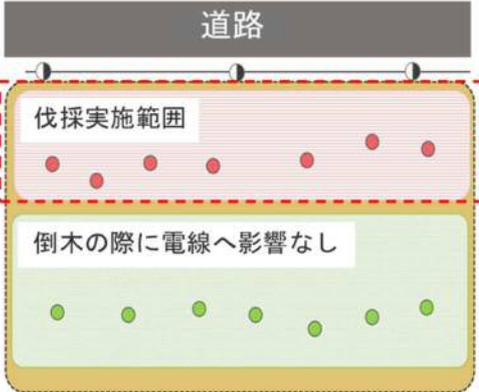
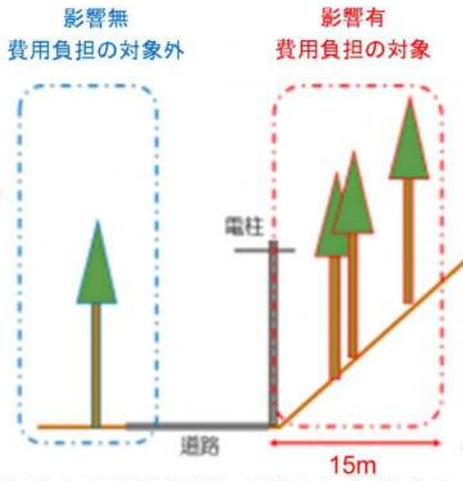


副市長レビュー（春）協議事項調書

| | |
|---|--|
| <p>1 部局名 (課名)</p> | <p>危機管理監 (危機管理課)</p> |
| <p>2 協議事項 (案件名)</p> | <p>予防伐採について</p> |
| <p>3 背景・現状 (現状把握で できる統計数 値など)</p> | <p>・ 予防伐採は、台風等の強風による倒木の影響で発生する停電を未然に防ぐため、配電線に影響を与える恐れのある立木の伐採を行う事業である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>道路</p> <p>伐採実施範囲</p> <p>15m</p> <p>倒木の際に電線へ影響なし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>影響無 費用負担の対象外</p> <p>影響有 費用負担の対象</p> <p>道路</p> <p>15m</p> <p>電柱</p> </div> </div> <p>※奥行きは道路から 15mを目安（倒木時に配電設備に影響を与えない範囲、実作業では配電線や道路への影響を考慮した倒壊範囲を伐採場所ごとに算出）。</p> <p>※幅については、各現場の影響範囲を考慮し想定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年台風第 24 号による倒木、土砂崩れ等により市内では大規模停電が発生し、天竜区では復旧までに最長 1 週間を要した。 ・ 2019 年、天竜区熊地区の自治会等から予防伐採について要望があり、地元住民との意見交換会を実施した。 ・ 静岡県は、2020 年から地震・津波対策減災交付金制度に市町の実施経費の 1/2 を県が補助する補助メニューを追加し、予防伐採を推進している。 ・ 本市では、森林面積が広く、予防伐採の対象となる箇所も多いためから中部電力と協議し、停電からの早期復旧に重きを置き、復旧作業における前線基地の場所、携帯型発電機の設置場所を提供した。また、情報共有のための連絡員の受入、道路啓開の協力などの協定を 2020 年 12 月に締結した。 ・ これまで、静岡県と中部電力が提示した事業スキームは、市負担が大きい（実施箇所の選定から地権者交渉、工事委託の発注まで行う）ものであったが、今回、中部電力が主体となって事業を実施し、市は負担金の確保と地権者交渉への協力する形で、事業に取り組みたい旨の提案があった。 |

| 4 検討経過・課題 | <p>【検討経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内他自治体等の費用負担は、別紙1参照。 ※島田市、岐阜県、三重県は中部電力：1/2、県：1/4、市：1/4 藤枝市、掛川市は都度協議 愛知県は県、長野県は市町村 ・中部電力が、公共設備の有無や民家の影響戸数、幹線配電線等を考慮して最優先箇所10を選定するとともに、優先順位を示した（別紙2）。 ・上記とは別に、天竜区以外の候補地4箇所を選定。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10箇所の全体事業費244,600千円（市負担額61,400千円）と多額の費用が必要となる。 ・能登半島地震の教訓から、中山間地域におけるライフラインや物資の確保が必要である。 | | | | | | | | | | | |
|--|---|------------------------------------|---|----------|----|-------------------|----|---------------------|---|------------------|---|------------|
| 5-1 方向性の提案 (目指すべき姿) | <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度から毎年2箇所ずつ、5年で10箇所実施する。 ・事業主体は中部電力、市は負担金を支出する。 ・費用負担割合は中部電力1/2、静岡県1/4、市1/4とする。 ・単年度事業費：34,100～71,500千円（市負担額：8,600～17,900千円） <p>【スケジュール】</p> <table border="1" data-bbox="501 1070 1217 1279"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容（実施主体）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>地元自治会への説明（中部電力、市）</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>地権者との交渉（自治会、中部電力、市）</td> </tr> <tr> <td>夏</td> <td>伐採実施に向けた準備（中部電力）</td> </tr> <tr> <td>冬</td> <td>伐採実施（中部電力）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2029年度までに実施する</p> | | 月 | 内容（実施主体） | 4月 | 地元自治会への説明（中部電力、市） | 5月 | 地権者との交渉（自治会、中部電力、市） | 夏 | 伐採実施に向けた準備（中部電力） | 冬 | 伐採実施（中部電力） |
| 月 | 内容（実施主体） | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 地元自治会への説明（中部電力、市） | | | | | | | | | | | |
| 5月 | 地権者との交渉（自治会、中部電力、市） | | | | | | | | | | | |
| 夏 | 伐採実施に向けた準備（中部電力） | | | | | | | | | | | |
| 冬 | 伐採実施（中部電力） | | | | | | | | | | | |
| 5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など) | <p>【妥当性・必要性・有効性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路寸断等により、孤立が予想される中山間地域は、電力の復旧作業が長期化することが予想されることから、中部電力が台風等による電力設備への被害防止（停電の未然防止）を目的に、倒木の恐れがある支障木を平時から予め伐採することは、災害時における公共施設、市民生活等への大規模停電リスクの低減に有効な手段である。 ・優先順位を決めて計画的に予防伐採を実施することで、負担金の平準化を図ることができる。 | | | | | | | | | | | |
| 6 結果 | <p>■提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他</p> | <p>具体的内容</p> <p>副市長とともに市長と協議する</p> | | | | | | | | | | |
| 7 その他 | | | | | | | | | | | | |